

			ド	
			イ	
	平		ツ	
	井			
	信	便		
	義	り		

私は生活にもすっかり慣れて毎日楽しい日を送っております。小児科のみで三百床もある病院なので実にさまざまな病気を見ることができ、市の医者として登録されましたので診療もしております。但し内地とちがう点は八時から十三時、次いで四時間の昼休みがあって十七時から十九時が勤務時間ということです。昼は下宿に帰ってゆっくり休養を取っております。夜は、と申し上げたいのですが、午前が十三時までで、十九時はまだ午後に属します。ラジオなどでも七時半頃から Abend Musik

(夕べの音楽)が始まりますし、人に招待されるのも八時頃から十二時頃までです。従ってお昼寝はどうしても必要なものでしょう。商店も午後一時から三時まで(戸をしめている家が多く、買物にはしばしば不自由をいたします。そして七時までビッタリ終えてしまいますから、三時から夕方までは買物がしばしば混雑いたします。そして私の十七時から十九時はおおむね図書館におります。

病院には一人 Kindergartenin (保母) が専属にいます。Frau Widuskel (ウィックステル夫人) という人ですが、二、三歳以上の子供たちを机の廻りに集めて切紙をしたりし、藤細工を教えたり積木を積んだりして遊んでやっておりますが、何しろ学童もおり、中学生もいるといった具合でまとまったカリキュラムは立っていないといっていました。然し病院専属に Kindergartenin においでしているのは非常に大切なことです。もう少し医者とよく連絡がとれてカリキュラムが立てられたらと思いますが、内地の多くの医者の方は診断とか治療ばかりに興味をもって、教育には余り関心が

ないようです。実はその人の紹介で、先日市立の Kindergarten (幼稚園) にいってみました。Kindergarten といっても、市立のものは全部日本の保育所に相当します。フランクフルトだけで(人口六十万の都市ですが)廿数カ所、一カ所に大体六、七十名の子供がおります中、三歳から預っていました。Frau Hoegel さんが一時間わたくしに案内と説明をしてくれましたが、相変らず恩物を一から六まで使っております他、アメリカ流の合成樹脂の積木を見せてくれて、多少お得意そうでした。市立の Kindergarten は従って朝七時から十七時乃至十八時まで、子供を預ることにあります。但し、教会附属の幼稚園など Privat-Kindergarten では午後一、二時の所もあろうが、Frau Hoegel さんは、よく知らないといっていました。日本のように幼稚園協会などというものはないといっていましたし、キンダーブックのようなよい雑誌は子供に与えておりません。但し Kindergartenin 向きの月刊雑誌には "Spiel und Erziehung" というのが一九五四年の八月から発行されていますが、そ

の他は日本のように先生方が雑誌から勉強する機会は少いようです。その雑誌の内容の一部を御紹介してみますと、「子供の目で社会的行動の発達をみよう」「病児の遊戯と作業について」「幼稚園での人形遊び」「子供の神経症」「子供の栄養」など、わが国のものと内容は余り変りがありません。それで一マルク八十ペニヒです。わが国の約倍に当りましょうか。然し物価

が大体二、三倍ですから、それも止むを得ないでしょう。(大きさはキンダーブック版三十頁)その幼稚園は私の下宿の近くです。時々訪問しようと思います。Frau Hoeselさんも日本の幼稚園について知りたがっていましたので、この次には写真を見せる約束をしました。

ドイツでは Kindergarten という言葉が日本の幼稚園でもあり、保育所でもあると

## 表紙について

堀 文 子

私は子供を持っていないものですから、一層子供に強い関心と夢をよせるのかもわかりませんが、凡そ子供の持っている美しさ、かわいさ、だけをよせ集めて、その醜悪さや、粗暴さや、吾が子への執念の苦しさとような気持を持たないで、私自身、心の中で子供の持つ一番美しい面と自分のあこがれとを勝手に結びつけ、組合わして居るのでしよう。そんな訳ですから、私の描く子供は多少生き生きと暴れまわっている現実の子供とはかけ離れているかも知れません。表紙の絵は、その私の大好きな子供と花を題材にして温かく、やわらかく、きよらかな気持を現わそうと致しました。女の子と花の持つ限りなく豊富な色と感情を二つの色におし込めて見た訳ですが、印刷になった時も皆様に私の幻想が幾らかでも感じて頂けたらと存じます。

いう点、これから時々御報告申し上げる中で、御留意下さるよう。両者の教育制度も全く同一ケースです。

何か Frau Hoeselさんにおききになりたいことがありますら、どうぞ御手紙をお寄せ下さい。きいて参りましょう。

(十一月二日 午後五時)

新

刊

日本女子大学教授 愛育研究所食養部長  
医学博士 武藤静子 著

栄養学の基礎から給食まで

A5判・208頁  
定価250円 丁24

株式会社 フレーベル館